

今夏の電力需給対策について

関西広域連合では、関西電力管内における今夏の電力需給見通しについて、関西電力にデータの提供を求めるとともに、国が実施している全国の電力需給見通しの検証状況等を踏まえ、専門家の意見も伺いながら検討を行った。

その結果、今夏の電力需給の見通しとして、需要ピーク時における節電効果を平成22年度夏の需要比で▲8.5%と見込んだ上で、他電力からの融通を受けてはじめて最低限必要とされる予備率3%が確保されることを確認した。

供給力については、関西電力管内の火力発電所の全台運転はもとより、中西日本各社から最大限の応援融通に加え、これまでに前例のない東日本エリアからの融通を受けることが前提となっている。

融通を受けることとしている中西日本エリア・東日本エリア全体の予備率は昨夏を下回っていることや、火力発電所の高稼働等による計画外停止のリスクは関西だけでなく全国的に高まっていることなどから、関西の電力需給は昨夏より厳しい状況にあることが確認された。

なお、昨夏の節電については、関西では“前年並の節電の着実な実施（平成22年度夏と比べて9%削減を目安）”を広く呼びかけたところ、節電要請期間全体の平均として11%削減の実績が確認されている。

以上から、関西広域連合としては、今夏を通じて電力需給がひっ迫することのないよう、府県民や事業者の皆様に対し、昨夏実績以上の日常的な節電を、下記期間を通じて着実に実施していただくよう呼びかけていくとともに、関西電力や国に対し一層の取組を要請する。

1 関西電力管内における今夏の節電のお願い

- 期間：平成26年7月1日（火）～平成26年9月30日（火）の平日
（8月13日（水）～15日（金）を除く）

- 時間：9：00～20：00

- 内容：昨夏実績（※）以上の節電の実施

（※昨夏の節電実績：平成22年度夏比11%減）

計画外停止のリスクが高まっていることなどから、昨夏の節電実績である11%を踏まえ、エアコン28℃設定やこまめな消灯、冷蔵庫の温度設定を弱めるなど、日常の業務や生活の中で実施可能な節電を着実に実施していただくようお願いします。

- 留意事項

〔家庭〕

- ・ 高齢者や乳幼児、体調が悪い方のおられるご家庭には、熱中症など健康上の支障をおよぼさない範囲での節電をお願いします。

〔産業・業務〕

- ・ 産業活動や病院、福祉施設、鉄道などのライフライン機能、都市機能等の維持に支障を生じない範囲での協力をお願いします。

- ※ 関西広域連合としては、省エネ型ライフスタイルへの転換に向けて、府県民や事業者の皆様が継続して節電・省エネに取り組んでいただけるよう、幅広く啓発活動を行う。

2 関西電力への要請

- 節電が着実に実施されるよう、広報や電力需給に関する情報提供などに取り組むこと
- 計画外停止等のトラブルリスクの低減に万全を期すとともに、トラブルが発生した際にも迅速に対応できる体制を整えること
- 需給がひっ迫すると想定される場合には、卸電力取引所からの調達や他社からの緊急融通等とともに、瞬時調整特約の発動やネガワット取引の実施等、できる限りの需給対策を的確に講じること

3 国への要請

- 国民や事業者に対する着実な節電を広く呼びかけるとともに、電力会社によるトラブルリスク低減の取組や、電力需給ひっ迫の恐れがある場合の一層の供給力確保や需要抑制の取組を促進すること

平成26年4月24日

関西広域連合

連合長	兵庫県知事	井戸 敏三
副連合長	和歌山県知事	仁坂 吉伸
委員	滋賀県知事	嘉田 由紀子
委員	京都府知事	山田 啓二
委員	大阪府知事	松井 一郎
委員	鳥取県知事	平井 伸治
委員	徳島県知事	飯泉 嘉門
委員	京都市長	門川 大作
委員	大阪市長	橋下 徹
委員	堺市長	竹山 修身
委員	神戸市長	久元 喜造